

大銀杏

おいちょう

令和3年4月28日
春号 第9号
発行：日蓮宗圓藏寺

〒330-0054

さいたま市浦和区東岸町1-29

電話 048-882-2835

FAX 048-883-9848

Facebook・Instagram

浦和 圓藏寺 検索



公式 HP



YouTube

この度、本堂の畳を入れ替えるために動き始めました。あらゆる箇所に見える傷みを感じる円藏寺にとって、これは長年の願いの一つでした。しかしながら、決して裕福とは言えない寺院の経済状況の中では、やはりなかなか動き出せず、皆様には様々な面でご迷惑をおかけしております。

では、なぜそのような状況にも関わらず、実現に向かっていかと申しますと、匿名であることが大変残念なのですが、あるお檀家様からの有り難いご寄進があったからなのです。この場をお借りして心より感謝申し上げます。また、数ヶ月前には、ある女性が本堂正面にある額を支える「額布団」の劣化を気にかけてくれ、新しいものをご奉納くださいました。この額は世話人様のお一人、平野様のお父様が昭和四十九年に「圓藏寺」と力強く筆をとってくれた大切なものです。たかが座布団、されど、その円藏寺を縁の下から力強く支えてくれるなくてはならないものですので、大変有り難く感じております。

以前にも少し触れましたが、日蓮大聖人のもとには多くのご供養の品が届けられました。大聖人は必ずご宝前にお供えし、信者の方へお礼状を認められております。お手紙の中には、「仏様はたいへん尊い方で、供養するものの量や質によって功德に差をつけるということはありません」とございます。そして、その功德によって「必ず仏とすることが出来るでしょう」とご教示くださっています。皆様からのご供養は大変有り難く、同時に、皆様にとっても必ずや大事な果報をもたらすものであろうとお手紙を拝読しながら切に感じております。

お手紙を拝読すると他にも、助けていただいた方へ「いつの世に生まれても忘れられないほど有り難く、生まれ変わってもご恩に報いてお返しします」とあります。ここ数年、小倉総代様から大変貴重な仏画、ご縁ある方々からの多くの暖房器具、他にも沢山の方々からご奉納いただいています。大聖人のように、ご恩に少しでも報いていける様、感謝をしながら日々精進してまいりたいと思います。(良海)

日蓮大聖人のお言葉

仏は真に尊くして

物によらず。

王日殿御返事

いつの世にかわすれ候ふべき。この恩はかへりてつかへたてまつり候ふべし。

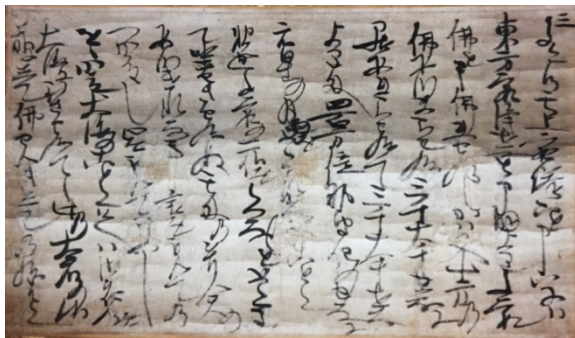
妙一尼御前御消息

日蓮大聖人のお言葉に触れ、日々の生活の指針を求めたいと思います。このお言葉は、それぞれ、弘安3年(1280年)大聖人59歳の時、建治元年(1275年)54歳の時、女性信徒たちへ送られたお手紙の一説です。法華経供養の功德をお説きなされました。

いろはに円藏寺①

寺宝「日蓮聖人真筆断簡 一幅」

円藏寺において、一番の寺宝といえるのは、この「日蓮聖人真筆断簡 一幅」です。日蓮聖人が実際に認められた御曼荼羅やお手紙などは、後世の人々にとって宝であり、大切にされてきました。中には、残念ながら火災などにより失われたものもあります。当山には、大聖人のお手紙の断簡（前後が欠けてるもの）が伝わっており、歴代住職により大切に守られてきました。現在は、年に一度、当山の御会式法要（十一月三日）にお風入れも兼ね、参拝の方にもご覧いただいております。また、昭和四十六年には、「さいたま市指定有形文化財」にも指定されました。



【原文】

多く候。其上宝塔品と申品には東方宝浄世界と申国より多宝仏と申仏来せ給しかは、又十方の仏あつまらせ給、三千大千世界に居あまらせ給て、三千大千世界より外四百万億那由他の世界に衆星の月日をめぐれるかごとく、釈迦多宝の二仏をくるくるとめぐりて坐せさせ給ぬ。其外の菩薩人天のあつまれる事、言をもんてのへかたし。心をもんて計へし。をゝかた大海のごとく候へは法華経を大海に譬させ給て候。此の大衆の御前にして仏せんきしての給はく

（昭和定本二九六一頁）

【解説】

縦三二cm、横四七・五cmの日蓮聖人の書簡の第三紙にあたる断簡です。建治年間（一二七五年から一二七八年）に身延山で書かれたお手紙で、法華経二十八品のうちの宝塔品について説明した一部と推察されます。また、本紙の裏に貼付された一紙には、地方の中流武士であろう加藤祐清の供養のために寄進したこと、また、日蓮聖人の真筆であることを日蓮宗の僧侶達が証明したことが書かれています。

（さいたま市HP参照・一部編集）

圓藏寺さんにお集りの善男善女の皆様方、いつもお世話になってます。あなたの立川談慶です。

さて、年4回発行しているこちら「大銀杏」に、今回から連載させていただくことになりました。思えば、4年前、たまたまフェイスブックの書き込みに「いいね！」を押したのを加藤良海副住職からメッセージのほうにメールをいただき、すぐにチャリに乗って会いに出かけたのが、こちらのお寺さんとのご縁となりました。以来、「開運落語会」と銘打ち、昨年来より世界中に猛威を振るうコロナ禍の中にもかかわらず、オンライン形式でつなぐなど、一度も途切れずに隔月開催をさせていただいております。

この度連載の依頼を受けて、タイトルはどうしようかと考えてみたのですが、やはり落語と仏教との接点は「信じる」ということではないかとの結論に達しました。「そこに行けば先祖さまに会える」と、我々の先輩たちが「信じた」ことからお寺は始まったのかもしれない。その前提が、お釈迦さま、お祖師様の言葉に救われると「信



じる」ことであります。「落語を聞くと面白い」と信じるからお客さんは集うわけですし、家族のために一生懸命に働けば家中が幸せになると「信じる」からこそ家庭が成り立ち、ひいては社会が形成されるのです。そうなんです、「信じること」から沸き起こるパワーはものすごいのです。

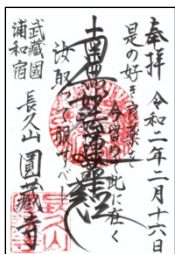
「信じる」という言葉は「人へんに言」と書きます。やはり、「信じる」ことの根本や大元は、「人の言葉」なのかもしれません。そんな言葉を使って、悩み多き人々に潤いを与えるのが仏教や落語だとしたら、ともにその中継者たるお坊さんや落語家の修業が厳しいのは当たり前なのではとも思います。

このコロナで、「自粛警察」を始めとした分断化が進んでいるとしたらとても残念なことです。「人の言葉」を信じるためにも言葉大切にしたいものですね。環境大臣も言っていますよ、「小泉、信じる」と（笑）。

落語立川流真打 立川談慶師匠

御首題情報

かたなえ
刀絵作家・宮本なる×浦和円蔵寺



①通常御首題
④刀絵御首題

この一年、当山の御首題（御朱印）を通じて、多くの新しい出逢いがあり感謝しております。さて、現在は、限定御首題として、「刀絵御首題」（布施・一五〇〇円）を頒布中です。刀絵作家・宮本なる様とご縁をいただき、日蓮大聖人ご降誕八〇〇年を記念して授与しております。繊細な刀絵（切り絵）は、額に飾っていただく事もお勧めしております。数に限りがありますので、ご興味のある方はお早めにお参り下さい。ホームページより郵送対応も受付中です。

※予定数に達した場合、受付を終了させていただきます。ホームページに記載致します。



【刀絵作家】
宮本なる

シンガポールを中心に日本の伝統を伝える刀絵作家。切り絵を通して「Cool Japan」事業にも携わる。「刀絵」とは、刀絵作家宮本なる独自の技法であり、匠が砂鉄からこさえた伝統的な和鋼の小刀を用いる今まで類のない一刀切り絵として注目される。鶴岡八幡宮など神社仏閣への奉納作品も多く、描く対象の御姿を刀におろして紙に命を吹き込む切り絵芸術は見る者に感動を与える。

○仏事のお悩みはお気軽にお寺まで

法事、葬儀、位牌の開眼（魂入れ）、卒塔婆、お数珠の種類、お布施、過去帳、お墓、永代供養墓などなど、仏事に関わることは、どなたであっても、いざその時にならないと分からないもの。もちろん我々僧侶も分からない事があるのでいつも勉強中です。

お困りのこと、「こんなことわざわざ聞いてもいいのかな」そんな些細な事でも大丈夫です。お電話・来寺にてお気軽にお尋ね下さい。ご一緒に考えていけたらと思います。



奉納感謝

ご奉納感謝いたします。
大切に使用させていただきます。

【額布団 一对】田邊聖子様

本堂正面に掲げる「圓藏寺」の寺号額を支える額布団は、経年劣化により元の姿が分からない程、傷みが激しい状態でした。今回ご奉納いただき、お参りの方も気持ちよくご参拝いただけるようになったのではと嬉しく思います。

【消毒液 沢山 赤坂 翠様

まだまだコロナ禍が油断を許さぬ状況の中、より安心してお参りいただけるお寺となりますよう心がけて参ります。お気遣い感謝致します。

【お茶 沢山 亮想(石材店)様

「ご参拝の方には是非お配りください。」とお彼岸にあわせてわざわざお持ちくださいました。亮想様は、お寺の依頼した作業はもちろんですが、それ以外にも、ご多忙の間を見ては、常日頃よりお寺の清掃や面倒事にも快くお力をお貸し下さり大変感謝しております。

○お墓参りの折りに・・・ご確認を。

境内墓所・原山墓所にある各家のお墓は、お檀家様にて維持管理をお願い致します。お墓の中の植木が隣のお墓に侵入、卒塔婆立てが崩壊中、雑草が伸びっぱなし...そのような様子がまれにございます。

事故・トラブルなどになる前に、一度ご確認をお願い致します。

また、お寺にて卒塔婆を代行してお建てした際、誤って違うお墓にお建てしているケースが先日ございました。申し訳ございません。間違いのないよう心がけておりますが、万が一、見覚えのない卒塔婆があった際には、お手数をおかけしますが、お寺までご連絡下さい。



歌舞伎への誘い



歌舞伎座



ホームページ

日蓮宗



特設ページ

日蓮大聖人ご降誕八〇〇年(令和三年二月十六日)を記念して、歌舞伎「日蓮」が上演されます。スーパー歌舞伎「ワンピース」を手掛けた脚本家・横内謙介氏と歌舞伎役者・四代目 市川猿之助氏がタッグを組み、その崇高な御姿が歌舞伎として、現代に蘇えます。

大変貴重な機会となりますので、是非訪れてみてはいかがでしょうか。五月十四日より一般予約が開始となります。円藏寺を介してお申込は下記をご覧ください。

歌舞伎「日蓮」
令和3年6月3日(木)~28日(月)
於・歌舞伎座 (東京都中央区銀座 4-12-15)
第三部 午後6時開演

一般販売料金 (税込)

- 《1等席》15,000円
- 《2等席》11,000円
- 《3階A席》5,000円
- 《3階B席》3,000円
- 《1階・2階敷席》16,000円

※詳細は歌舞伎座ホームページをご参照下さい。



☆☆☆円藏寺専用席・割引販売価格☆☆☆

- 【日時】6/13(日)午後6時開演
 - 【座席】1等席・13,000円 (税込・送料含)
 - 【枚数】限定30枚※先着順
- 《注意事項》

※団体で申し込んでいるため、一律、上記日程・1等席のみとなります。その他、座席位置の指定は出来ません。ご了承ください。

※コロナ禍を鑑み、ツアーなどは組まず、各々で観劇していただく形となります。

※予定数に達した場合、ホームページに記載致します。

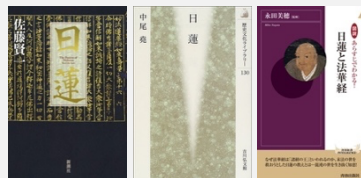
【申込から当日までの流れ】

- ①4/30(金)より申込開始
 - ・円藏寺檀信徒様→来寺 or 電話受付(048-882-2835)
 - ・檀信徒以外の方→円藏寺ホームページからメール
- ②円藏寺より、順次チケットを送付
- ③お支払い方法は2通り※申込時にお伝えください。
 - ・上演前日までに、お寺にご参拝にて直接お支払い
 - ・上演当日、歌舞伎座にて副住職・加藤良海に直接お支払い (詳細はチケット送付時に同封致します。)

※おつりのないようご協力お願い致します。
- ④各々で観劇、上演終了後、適宜解散

【書籍】

- ①『日蓮』佐藤賢一・新潮社 (小説)
お経の一節、大聖人のお言葉などを忠実に再現した魅力的な物語。
- ②『日蓮』中尾堯・吉川弘文館 (学術書)
神格化されたエピソードも多いご生涯。学術的な視点から分かりやすく学べます。より深く学びたい時の一冊目にオススメ。
- ③『図説あらすじでわかる!日蓮と法華経』永田美穂・青春出版社 (一般書籍)
一般向けの書物は他にも沢山ありますが、タイトル通り、図説にて分かりやすく学ぶことが出来るので好きな本です。



【映画】

- ④『日蓮』(1979年劇場公開) (Blu-ray/DVD)
萬屋錦之介をはじめ、豪華な俳優陣による映画は今見ても大変見応えがあります。



【YouTube】

- ⑤『日蓮宗』(宗門紹介ムービー)
日蓮宗が公式に出している紹介映像です。浪曲師・国本武春氏による心地よい語りや豊富な資料によって多面的な視点で学ぶことが出来ます。
- ⑥『日蓮聖人御一代記』(講談スライドショー)
日蓮宗中四国教区作製の講談スライドショーです。分かりやすいイラスト、講談師・一龍斎貞鏡氏による迫力ある講談が魅力的です。
- ⑦『円藏寺ティービー』
当山・副住職加藤良海による『日蓮大聖人の御生涯 (略)』です。大聖人のご生涯を駆け足で語ります。皆様の温かいご慈悲で観てやってください!



歌舞伎「日蓮」を楽しむための予備知識!

日蓮大聖人のご生涯を知るためのオススメ書籍・映像をご紹介します。より歌舞伎を楽しむために、是非ご覧いただけたいと思います。